

## 『肝臓再生医療の進歩』

肝臓川柳

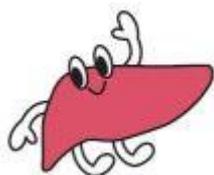


『夢治療 進歩してます 再生肝』

(肝臓再生医療(再生肝)も済生会も進歩してます!) ノノノノノ

先日理化学研究所の小保方晴子さんのチームが  
新型の万能細胞である STAP 細胞の作製に成功したと発表され、大変大きな話題になりました。実用化はまだ遠いですが再生医療にとって画期的な出来事です。肝臓の再生医療については古くから研究されていますが、  
最近では肝トピックス 53 で紹介したように  
自己の骨髄細胞を利用した肝再生の研究(山口大学坂井田教授)が進み  
臨床的にも有用性が報告されており、  
万能細胞である iPS 細胞では、去年世界で初めて iPS 細胞から血管構造を持つ  
機能的なヒト肝臓を創り出すことに成功したと発表されました(横浜市立大学谷口教授)。

iPS 細胞は、眼の病気である加齢黄斑症に臨床応用が始まっています。  
肝硬変、肝癌、肝不全患者さんの根本治療に成り得る夢の治療である  
肝臓再生医療が徐々に進歩しています。



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

実用化はまだ遠いですが、iPS 細胞では機能的な人の肝臓を創り出すことにも成功したと発表されており、肝硬変、肝癌、肝不全患者さんの根本治療になり得る肝臓再生医療が徐々に進歩しています。

(文: 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)